

相談できる場所があります

らぶらすでは、平成29年4月から「女性のための起業・経営相談」と「性的マイノリティのための電話相談」がはじまりました。これまで行ってきた「女性のための悩みごと相談」「女性のための働き方サポート相談」に加えて、よりいっそう相談事業を充実していきます。男女共同参画センターの相談事業の背景には女性の悩みごとについて、「女性の相談は個人的なものというよりむしろ女性が置かれた社会構造から発生する女性共通の問題である」という視点があります。社会の中で生きづらさや悩みごとを抱えたとき、相談できる場所がらぶらすにあります。今号は「相談」をテーマに、らぶらすの資料を紹介します。

『先生と親のためのLGBTガイド』

もしあなたがカミングアウトされたなら

遠藤 まめた 著
合同出版



子どものための電話相談を行う著者自身も、自分の性別について周囲の理解を得るまで時間がかかった。子どもたちはこんなことで困っている、という話をすると、大人たちには、当事者との「出会い直し」がはじまる。巻末に関連書籍や支援団体、電話相談など資料集あり。

『ゼロからはじめる起業の法律』

必ず知っておきたいこと100

小坂 英雄 著
あさ出版



2003年から1万5千件以上の起業・経営相談を受けてきた著者が、相談に訪れた人に向けて“法律に強くなって欲しい、法律を身近に感じて欲しい”との思いで著した。起業の準備段階から、実際の起業、起業後のトラブル対応まで、知っておきたい法律知識を紹介。

『相談の力』

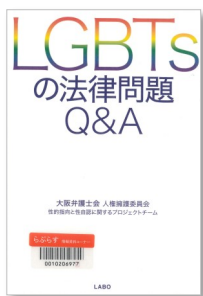
男女共同参画社会と相談員の仕事

須藤 八千代・土井良多江子 著
明石書店



男女共同参画社会の実現へ向かって、進化する「相談」をめぐる全8章。相談の現場からのレポートや災害時の女性相談の意義のほか、相談実践の高度化・システム化の落とし穴も指摘。“相談は対人援助職のスキルではない、「判断し続ける知」である”との立場で編集された労作。

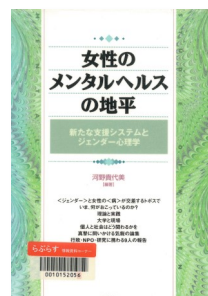
[相談に関する図書・資料]



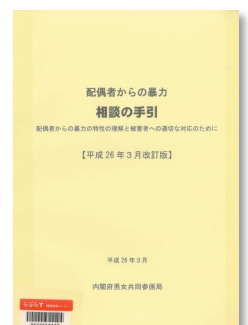
『LGBTsの法律問題Q&A』
大阪弁護士会 人権擁護委員会 性的指向と性自認に関するプロジェクトチーム 著
弁護士会館ブックセンター出版部LABO



『子ども虐待としてのDV』
春原 由紀 編著 武蔵野大学心理臨床センター子ども相談部門 著
星和書店



『女性のメンタルヘルスの地平』
河野 貴代美 編著
コモンズ



『配偶者からの暴力 相談の手引』
平成26年3月改訂版
内閣府男女共同参画局推進課暴力対策推進室 編
内閣府男女共同参画局

らぶらす
ホームページ



<http://www.laplace-setagaya.net>

利用案内

らぶらす資料コーナー(ライブラリー)へようこそ！

らぶらす資料コーナーでは、およそ1万9千点の書籍やDVD、行政資料などを所蔵しています。運転免許証や健康保険証など、住所とお名前の確認できる書類をお持ちいただければ、その場で利用者登録ができます。1回につき3点まで、2週間の貸出が可能です(AV資料1週間まで)。

らぶらす開館時間

9:00-22:00

図書貸出時間

9:00-21:30

休館日:毎月第3月曜日

(祝日の場合はその翌日)

及び年末年始

新着図書から



『子ども食堂をつくろう！

『人がつながる地域の居場所づくり』

NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク 編著
明石書店

子どもの貧困対策だけでなく、地域の居場所づくりとして全国で広まりつつある「子ども食堂」を、立ち上げから運営方法までQ&A方式で紹介する。先輩子ども食堂の体験談も多数。「誰かがやってくれる社会」から「自分たちでできることを始められる社会」へ、「子ども食堂」のあり方を通して考えるきっかけになる。

子どもの貧困



『子どもの貧困ハンドブック』

松本 伊智朗ほか 編著
かもがわ出版



『江戸の乳と子ども』

沢山 美果子 著
吉川弘文館



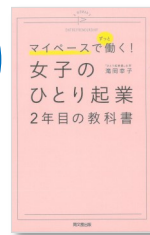
『丸刈りにされた女たち

『ドイツ兵の恋人』の戦後を辿る旅』

藤森 晶子 著
岩波書店

第二次世界大戦下、ドイツの占領から解放されたフランスで、ドイツ兵の恋人だったフランス人女性たちに対し、見せしめとして丸刈りにするという制裁行為が行われた。日本人留学生の著者が戦争の犠牲になったそんな女性たちに実際に会い、当時の状況やその後の人生について話を聞き綴った記録の一冊。

女性たちの人生



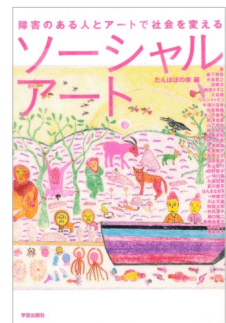
『女子のひとり起業』

滝岡 幸子 著
同文館出版



『昭和前期女性文学論』

新・フェミニズム批評の会 編
翰林書房



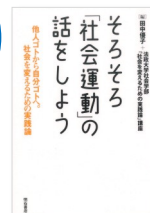
『ソーシャルアート

『障害のある人とアートで社会を変える』

たんぼぼの家 編
学芸出版社

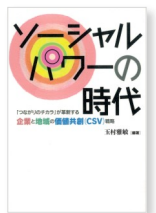
障害のある人と、周囲でケアに携わる人々、芸術家・研究者たちが実践してきたソーシャルアートの25のレポート。表現においては障害や年齢はひとつの個性になる。一人ひとりの感じ方を認められ、表現者としての能力を発揮していくうちに、誰も気づけなかった新しい価値観や、交流と協力の自然な形が生み出されていく。

社会の中で



『そろそろ「社会運動」の話をしよう』

田中 優子 編
明石書店



『ソーシャルパワーの時代』

玉村 雅敏 編著
産学社

絵本

■『おむかえパパ』

ナディーヌ・ブランコム 文 オレリー・ギユレ 絵 中川ひろたか 訳
主婦の友社



小さな子どもとパパとの会話。子どもの「もし」に想像力豊かな「もしそうだったら」で一所懸命に答えるパパの姿に思わずクスッと笑える。鮮やかなイラストの色にも引き込まれ、読後はほっこり幸せな気分になる。

コミックス

■『オンナひとりでもどうにか生きていけるっばい！』

東 園子 著
KADOKAWA



老後のお金までしっかり考えている女性は少数なのは？ 職業も収入も異なる「オンナひとり」の3人が「お金・住まい・親の介護・病気とカラダの変化」等とともに学ぶ。不安の先に、“生きていけるっばい”人生が見えてくる。

DVD

■『4分間のピアニスト』

クリス・クラウス 監督
2006年 制作 ドイツ



80歳の女性ピアノ教師が刑務所で受刑者にピアノを教える実在の写真から、クラウス監督が構想を得た作品。かつては神童、今では刑務所随一の問題児である少女と、ピアノ教師の魂のぶつかり合いを描く。ピアノシーンは圧巻！

貸出中の場合は予約ができます

★住所・電話番号が変わりました！

〒154-0004 世田谷区太子堂1-12-40 グレート王寿ビル3階

TEL 03-6450-8510 FAX 03-6450-8511

らぶらすホームページ <http://www.laplace-setagaya.net>

らぶらす
Facebook page

facebook



世田谷区立男女共同参画センター

らぶらす